

# 医者も知らない平穏死



連載⑩

△長尾和宏△長尾ク  
リニック院長。日本  
尊厳死協会副理事  
長。著書に「平穏  
死」10の条件」など。

スタッフは「転  
んだようです」  
と頼りない説  
明。その後も、  
同じようなこと

「母を自宅で看取りた  
いけど、やっぱり相応  
の覚悟が必要ですよ  
ね」

在宅での看取りに、  
特別な「覚悟」は必要  
ありません。「歩きな  
がら考える」程度の軽  
い気持ちで大丈夫だと  
思っています。「自分た  
ちは絶対に無理」と  
考えて、病院にゲタを  
預ける前に、まずはや  
つぱり「やっぱり  
ダメだ」と判断した  
という気持ちのよう

ある患者さんのご家  
族から質問されまし  
た。その患者さん(89  
元氣そのもの。でも、  
ご家族からすると「も  
うすぐ90歳。そろそろ  
考えておかななくては」  
という気持ちのよう

写真はイメージです



いすればい  
いのではないでし  
ょうか。  
Sさんは  
アルツハイ  
マー型認知  
症で要介護  
5のおしゅ  
ろとめさん  
(91)を自

## 在宅での看取りに覚悟が必要?

宅で看取りました。  
「へお義母さんにはい  
い老人ホームで過ごし  
てもらおう」と考えて  
いました。一人息子の  
夫も同じ意見。それこ  
そが、義母にとつてバ  
ストだと考えていたん  
です」  
何軒も老人ホームを  
見学し、医師が経営陣  
に名を連ねている施設  
に決めました。費用は  
かなり高額。でも、  
「お義母さんのため」  
と、お金を惜しみませ  
んでした。むしろ、  
「高額だから安心」と  
いう気持ちがあったと  
、Sさんは言いま  
す。  
ところがある時、面  
会に行くと、お義母さ  
んの顔にアザが……。  
「担当スタッフはだれ  
ですか?」と聞いても  
「教えられません」と  
ひとりである医師との  
面談を求めると無視さ  
れたりと、納得のいか  
ないことばかり。結  
局、お義母さんを自宅  
で、自分で看することに  
決めました。  
「へ見切り発車」で無  
我夢中の介護の日々で  
したけど、お義母さん  
が亡くなる寸前、目を  
開き、夫や私、子供た  
ちに会釈をしたんで  
す。ああ、お義母さん  
と最期まで一緒に過  
せてよかったです……と  
心から思いました」  
Sさんの笑顔が印象  
的でした。